

## 2011 年 愛知県の気象・地震 10 大ニュース

### —大震災、相次ぐ台風の襲来—

東日本大震災、紀伊半島の大雨災害など、日本列島で大きな災害が起こった今年、名古屋地方気象台が愛知県の気象・地震に関する出来事のトップテンを選びました。

#### 1. 3.11 東北地方太平洋沖地震 —震度 4、155 cm の津波—

3 月 11 日 14 時 46 分、三陸沖を震源とするマグニチュード(M)9.0 の地震が発生し、宮城県栗原市で震度 7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の 4 県 37 市町村で震度 6 強を観測したほか、北海道から九州地方にかけての広い範囲で震度 6 弱～1 を観測し、愛知県では名古屋市、稲沢市など 9 市町村で震度 4 を観測しました。県内で震度 4 を観測したのは、平成 21 年(2009 年)8 月 11 日の駿河湾の地震(M6.5)以来となります。また、この地震に伴い、福島県相馬で高さ 9.3m 以上の非常に高い津波を観測するなど、北海道から沖縄にかけての広い範囲で津波を観測し、愛知県では田原市赤羽根で高さ 155 cm、名古屋で高さ 105 cm の津波を観測しました。

余震は数多く発生し、12 月 21 日までに震度 5 弱以上を観測した地震は 44 回となっています。

#### 2. 台風第 15 号と前線による大雨・暴風

台風第 15 号は、強い勢力を維持しながら 9 月 21 日に東海道沖を北東に進み、14 時頃静岡県浜松市付近に上陸後、関東地方を縦断して本州の東海上に抜けました。台風が九州の南を北東に進んでいた 20 日日中は、日本付近に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が流入し、尾張東部から中濃・東濃にかけて大雨となり、庄内川が名古屋市守山区下志段見地区で堤防越水しました。また、台風が愛知県に接近した 21 日日中は、東三河北部・西三河北東部を中心に大雨となり、豊田市阿蔵では総降水量 383.5 mm を観測しました。沿岸部では 21 日日中に非常に強い風が吹き、豊橋で最大風速 20.5m/s、最大瞬間風速 33.1 m/s を観測しました。

この台風により、死者 3 名、負傷者 11 名、床上浸水 118 棟、床下浸水 426 棟、道路損壊 57 箇所、農林水産業関係被害 109,453 万円が発生しました。

#### 3. 8 月下旬の局地的大雨

8 月 22 日夜遅くから 23 日未明にかけて、本州付近に停滞する前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、尾張西部と尾張東部の一部で雷を伴う非常に激しい雨が降り、23 日 0 時から 1 時までの 1 時間に一宮市付近で約 100 mm、0 時 30 分から 1 時 30 分までの 1 時間に一宮市、江南市、扶桑町付近で約 100 mm の猛烈な雨となり、床上浸水 172 棟、床下浸水 1013 棟の被害が発生しました。

8 月 26 日夜遅くから 27 日未明にかけて、本州付近に停滞する前線に向かって南からの暖かく湿った空気が流れ込み、江南市と一宮市で雷を伴う非常に激しい雨が降り、27 日 0 時から 1 時までの 1 時間に江南市付近で約 90 mm の猛烈な雨となり、床上浸水 23 棟、床下浸水 154 棟の被害が発生しました。

#### 4. 2 年連続の暑い夏 —6 月下旬の記録的高温—

6 月下旬から 7 月中旬と 8 月上旬後半から中旬中頃は、太平洋高気圧が強まり、暑い日が続きました。太平洋高気圧が弱まって気温が平年を下回る時期もありましたが、夏の平均気温は、名古屋 26.5℃(1891 年の統計開始以来第 4 位)、伊良湖 25.7℃(1947 年の同第 4 位)となり、記録的な高温の昨年に引き続き 2 年連続で高くなりました。特に 6 月下旬は記録的な高温となり、伊良湖で 29 日に日最高気温 36.3℃、名古屋では 30

日に日最高気温 35.8℃を観測し、共に6月としての第1位の高温の記録となりました。

## 5. 台風第6号による大雨・強風

大型で強い台風第6号は7月19日に四国の南海上を北上し、20日00時30分頃徳島県南部に上陸しました。その後、進路を東に変え潮岬付近を通過し、東海道沖を南東に進みました。台風が四国沖から潮岬に進んだ19日夜から20日朝にかけて、西三河北東部、西三河南部、東三河北部で大雨となり、日最大1時間降水量は阿蔵で19日20時44分に46.5mmを観測しました。降り始め(18日13時)から20日16時までの降水量は、西三河北東部、東三河北部で400mm以上となり、阿蔵で474.5mmを観測しました。また、19日から20日朝にかけて海上中心に強風となり、常滑市セントレアで最大風速19.9m/s、最大瞬間風速26.2m/sを観測しました。

この台風により、負傷者8名、住家一部破損4棟、床上浸水2棟、床下浸水15棟、道路損壊27箇所、山崖崩れ4箇所、農林水産業関係被害40,323万円が発生しました。

## 6. 台風第12号による強風・大雨

大型の台風第12号は、日本の南海上からゆっくり北上し、9月3日10時前に高知県東部に上陸、18時頃岡山県南部に再上陸後、4日3時に山陰沖に達しました。2日午後から3日にかけて県内の広い範囲で強風となり、3日午前にも名古屋で最大風速14.4m/s、最大瞬間風速25.9m/sを観測しました。また、台風に向かって南から湿った空気が入ったため、総降水量は豊田市稲武で330.0mmを観測するなど、西三河北東部と東三河北部で大雨となりました。

この台風により、負傷者25名、農林水産業関係被害31,506万円が発生しました。

## 7. 記録的に暖かい秋

暖かい空気に覆われやすかったため、秋の平均気温は記録的に高くなりました。9月上旬後半から中旬にかけては、太平洋高気圧に覆われ晴れて残暑が厳しくなりました。また、11月上・中旬は暖かい空気に覆われて顕著な高温となりました。秋の平均気温は名古屋19.3℃(1890年の統計開始以来第1位)、伊良湖19.7℃(1947年の同第5位)となりました。

## 8. かなり早い梅雨入り、梅雨明け

5月下旬に入ると本州の南海上に前線が停滞し、平年よりかなり早い5月22日ごろ梅雨入りしました。7月上旬後半に入ると、太平洋高気圧が強まって平年よりかなり早い7月8日ごろ梅雨明けしました。6月～7月の東海地方平均の降水量平年比は103%で平年並となりました。梅雨入りは1951年の統計開始以来で2番目(1956年とタイ)に早くなりました。

## 9. 1月16日の大雪

1月16日は、この冬一番の寒気の流入で愛知県内の広い範囲で大雪となり、名古屋で21時に最深積雪11cmを観測しました。このため、雪が原因の人身・物損事故が多く発生し、公共交通機関に欠航・運休等の影響が出ました。名古屋で最深積雪が10cmを上回ったのは、2008年2月の13cm以来3年ぶりでした。

## 10. 震度1以上の地震を多く観測

2011年は、愛知県では震度1以上の地震を76回観測し(12月21日現在)、過去10年間では一番多くなっています。これは、3月11日の東北地方太平洋沖地震及び大きな余震、3月12日の長野県北部の地震、3月15日の静岡県東部の地震など大きな地震が発生したことによるものです。

注) 被害は愛知県防災局、愛知県農林水産部、愛知県警察本部の資料によります。